

いづみ通信

岡山県立
岡山一宮高等学校PTA
(第45号)

PTA会費の使い道



PTA会長

竹原 和志

皆様方におかれましては、日頃より本校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本会報は、私の役員就任時の予算取りでは年2回の発行の予定でしたが、なかなか折り合いがつかず、年1回の発行にとどまっていた。それがこの度、念願の年2回発行となつて、たいへん喜ばしく感じています。

予算取りの話が出ましたので、PTA会費の使い道について書かせていただこうと思います。私も当初、会費の使い道について何も知らなかったもので、「同じように思われている保護者の方も多いんじゃないかな」との思いからペン執りました。

会費の使い道ですぐに思いつくものの代表として、卒業証書ファイルや卒業生へのコサージュ、卒業記念品（昨年度は印鑑）など、本校卒業生が対象の物があ

ります。次に役員会や評議委員会、そのほかPTAが企画したイベント時のお茶やゴミ袋、ネームホルダーなどの消耗品や雑品があります。保護者の「岡大訪問」や「保護者進路相談会」での講師の方への謝礼にも活用されているほか、在校生の課題探究に使用する実験材料等の費用にも使われています。

さらには令和4年度にグラウンドを整備するためにトラクターを買い換えた費用、令和5年度は銀杏会館と玄関に設置され「お知らせ

せ」などを流している大型モニターの購入費用に使いました。また、本年度は酷暑だったため、銀杏祭文化の部で体育館に設置した大型冷房機のレンタル費用や、ドリンク販売のイベントクーラーの購入費用など、会費の使い道は多岐にわたります。

いずれの費用も、直接的にも間接的にも、子どもたちの学習環境や学校周辺の生活環境が改善したり先生方の負担を軽減するよう、考えぬかれて適正に利用しています。

PTA会費という性質上、納めていただいた保護者のお子様に十二分に還元していきたいと考えていますが、残金は次年度に適正利用していただけるものとして次期役員に繰り越し、託していきたいと考えています。

最後になりますが、岡山一宮高校のPTA活動に、今まで以上のご理解とご協力をいただきますようによろしくお願い致します。

「決断実行力」を育てるために



校長

甲本 龍平

日頃より本校のPTA活動にご理解とご協力をいただき、大変感謝致しております。卒業生保護者の皆様には、お子様のご卒業、誠に

におめでとうございます。令和6年度も残りが少なくなつて参りましたが、1年間を通して学校運営を支えていただき大変ありがとうございました。令和6・7年度は、本校が岡山県高等学校PTA連合会の会長校となり、竹原会長には校外でも多くの行事にご参加

いただくとともに、校内でも生徒のために様々な取り組みを進めていただきました。

例えば、銀杏祭文化の部の模擬店、校内清掃活動、保護者による岡山大学訪問、保護者進路相談会などです。どれも活況でした。私も保護者進路相談会に参加させてもらいましたが、その時、「勉強をする姿勢が見えない子にどんな声

かけが良いのか」という質問をいただきました。実は私も大学受験を経験した息子と、今まさに受験期を迎えようとする娘の親であり、その立場から答えさせてもらいました。当然正解はありません。私は「細々言わずに家庭の状況も十分に伝えながら本人に考えさせ、勉強も受験先も自分の言葉で根拠を持って説明させるように仕向けた。ただ、話をしっかりと聞いてやること、食事と睡眠時間に気を付けてやることを心掛けた」と伝えました。

きつと「それだけでうまくいくのか」と疑問を持たれたとは思いますが。当然、「子どもの未来が輝くものであってほしい」と思う気持ちは皆さんと同じです。ただ私は、根拠を持って我が子にこう接してきました。今、OECDでは「自ら考え、主体的に行動する資

質・能力」をエージェンシーとして育成したい力に位置付け、知識を身に付けるための基礎となる能力としています。本校で示す資質では「決断実行力」でしようか。自分自身で切り開くべき未来、そのために自分で考え抜ける力を身に付けて欲しい、それだけが親である私と妻の願いです。

子どもたちの未来はそれぞれ本人のものです。責任を持たせること、自分で考えさせること、でも心と体は支えてやること、これが親の私にできる最大のことであると思っています。

今後も本校のPTA活動に御協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。



銀杏祭の文化祭バザー

9月7日(土)の銀杏祭文化の部(文化祭)当日、バザーをPTA主催で開催しました。

PTA役員・評議員の皆さんに協力いただき、約900個のパン類、約600個のおにぎり、約1000本のドリンク類を購入して、前日の夕方と当日の早



朝からテントの設営やドリンク類の水、商品の値札付けなど、販売準備をして臨みました。

当日は快晴となり、多くの保護者や子どもたちに購入いただき、ドリンクやパンなどは早々に売り切れとなり、ドリンクなどは追加仕入れをするために近くのストアに走りまわりました。

2万円ほどの利益は、学校のふるさと納税に寄付しました。

準備や当日の販売に協力いただきました方々、購入してくださった皆様、ありがとうございました。



たいへんにぎわった銀杏祭

岡山大学訪問、参加者に好評

7月10日(水)、3年生から1年生までの保護者約60人が岡山大学を訪問しました。

午前は大学の概要や各学部の教育内容、最新の入試状況などを、詳細に紹介していただきました。

昼食を挟んで午後は、一宮高校の卒業生で岡大在学中の3人に、高校での勉強の仕方や大学での専門研究の説明などを発表してもらいました。

その後、グループに分かれて、座談会形式で質疑応答をしてもらいました。参加いただいた保護者の皆さんからは概ね好評をいただきました。当日のアンケートを元にグラフにしてみました。

以下、参加者の声の一部を紹介します。

参加者の感想

「午前の部」の参加者の声

○「分かりやすい説明でした。知らなかった情報も聞けたので、持ち帰って家族にも伝えたいと思います」

○「入学してからの授業内容や学校生活につ

いて具体的な話を聞けてイメージが膨らみました」
○「留学のことなどを、時間があればじっくり聞きたかった」

.....

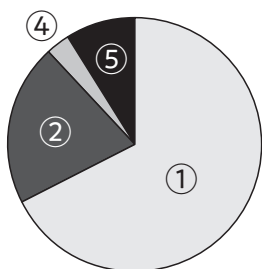
「午後の部」の参加者の声
○「一宮高校の卒業生で現役大学生の話がとても身近で、学校推薦や受験勉強など具体的なことが聞けて参考になりました」

○「卒業生の話を聞いて、我が家の受験生にガミガミと言っていました。静かにサポートしていこうと思いました」



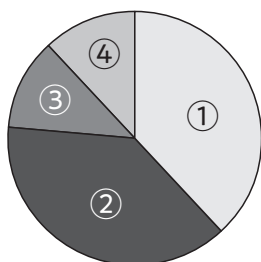
午前の部の大学紹介の会場

岡山大学訪問満足度アンケート



「午後の部」の満足度

① たいへん満足	67.6%
② やや満足	20.6%
③ 普通	0%
④ やや不満足	3%
⑤ 不参加	8.8%



「午前の部」の満足度

① たいへん満足	38.2%
② やや満足	38.2%
③ 普通	11.8%
④ やや不満足	11.8%
⑤ 不参加	0%

○「貴重な機会をいただきました。たいへん濃い内容で参加してよかったです」
○「もっと卒業生の話を聞きたいと思いました。帰って子どもにも話して聞かせて盛り上がりました」
○「受験の時に親にどうしてほしいかなど、受験生の立場で具体的に聞くことができたのが特によかったです」
○「一般選抜で受験された卒業生の話を、もっと聞いてみたいです」

日程表

10時～	岡山大学到着後点呼確認
10時15分～10時20分	オリエンテーション (学務企画課)
10時20分～11時20分	大学概要説明 (入試・高大接続部門)
11時20分～13時	昼食及びキャンパス自由散策
13時～15時	OB等による懇談会

クリーン大作戦で校内スッキリ

10月9日(水)13時30分から約2時間、PTA有志35人が参加して、校内クリーン作戦を実施しました。10日後にはオープンスクールがあるため、少しでもきれいになった校内を見てもらうと、この日の清掃活動となりました。

当日は秋晴れとなり、中庭や駐車場の草刈りや草取



皆さんで分担して取り組んだ清掃活動

り、枯れ葉などのゴミ拾いなどをして約2時間、汗を流しました。大きなゴミ袋は40袋を超え、校内はたいへんさっぱりしました。おかげで、来校者の方々に「気持ちよく」校内を見てもらえるようになりました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。



保護者進路相談会で親睦

11月18日(月)、校内の研修室でPTA主催の「保護者進路相談会」を開催しました。子どもの受験についての不安を少しでも解消し、保護者同士で情報交換をし

てもらうと、昨年に続いて実施しました。1年生18人、2年生20人、3年生9人の計47人と多くの保護者に参加いただきました。最初に、岡山一宮高校OB・OGのお子様を持つ「先輩保護者」の方に受験の体験談をお話しいただきました。三人のお子様も三人とも一宮高校を卒業した保護者の話などは、子どもの個性に応じて対応したことなどを、母親の立場から貴重な体験談をうかがうことができました。

その後、8グループに分



卒業生の講演を聴く参加者の皆さん

かれて少人数で討議をしていただき、受験に関することから子どもとの関わり方まで、活発な意見交換が行われました。

PTAでは、少しでも保護者の皆様や生徒たちのお役に立てればと、微力ではありますが、今後も様々な活動を実施していきたいと考えています。保護者の皆様には、イベントに参加されてのご意見や日頃の活動でお気づきの点を、PTA役員や評議員にお寄せください。今後のPTA活動に反映させて、よりよい活動にしていきたいと思っています。

本年度はPTA活動にご理解をいただきありがとうございます。来年度もよろしくお願い致します。



グループに分かれて意見交換

合格祈願のカイロを3年生に

「受験に臨む3年生のために少しでも役立てれば」と始まった吉備津彦神社でのカイロの祈禱。12月19日(木)、43期生の合格祈願のために、甲本校長先生と3年

学年主任の川相先生、PTA役員4人で参拝しました。吉備津彦神社は一宮高校のある備前の一宮。祈禱していただいた「合格カイロ」は、大学入試共通テストの前日までに配られました。受験当日に、培った学力が存分に発揮できるように祈っていたいただいたもののなかで、私たちも「御利益」が



吉備津彦神社で祈禱を終えて

保導委員の保導活動について

岡山一宮高校は、岡山市内の高等学校PTA連合会に所属しています。一宮高校の教諭と評議員である保護者の方で、長年に渡り岡山市内にある全ての高校の教諭や他校の保護者の方たちと班体制をつくり、保導活動を行っています。この保導の意義と目的は次の通りです。

○保導委員は、生徒の保護善導を意識して保導にあたる。

○非行少年やそのおそれのある少年、あるいは、いろいろな問題を一人で抱え込み、様々な理由で社会に順応できない少年たちに声をかけ、その行為や原因、動機などについて尋ね、場合によっては関係機関に連絡するなど、少年たちの処遇に最も良いと考えられる措置を講じる。

○地域で少年と出会い、ふれあう中で「少年たちの行

動に注意を払い、気にかけていたり心配したりしている大人もいる」といった視点で関わりを持つ。

保導委員は、一宮高校の生徒の下校時間に合わせて、岡山駅周辺や表町での子どもたちが集まりやすい場所や、一宮高校の生徒が多く利用するJR桃太郎線や津山線に乗りし列車内で保導をしています。



補導活動をした補導委員の皆さん（岡山駅前で）

一宮高校の評議員の皆さまに声かけして、保導活動に参加していただいています。参加して子どもたちへの見守りや声かけをするだけではなく、他校の教諭や保護者と交流し情報共有の場ともなり、保導活動を通じて子どもたちを取り巻く環境の学びと気付きの機会にもなると考えています。

保導での子どもたちに声かけをする際に気を付ける点や、子どもたちが犯罪に巻き込まれる実例として、次のようなことが挙げられます。

1. 保導の際の声かけは、愛情を基本に行い、穏やかな口調で子どもたちに配慮する。
2. 警察の街頭補導とは異

を教えてしまい、脅されてやめられず、誰にも相談できないでいる。

8. 岡山県内の高校生にも違法ドラッグに手を出している子どもがいる。

3年生の子どもたちは卒業して4月には新生活が始まり、進学された子どもも就職する子どもも副業で、アルバイトをすることもあるかもしれません。注意したいものです。

警察は、ネット上の違法情報等を探すサイバーパトロールを実施しています。

もし、子どもたちがよく分からずにアルバイトをしていたとしても、それが特殊詐欺につながっていれば犯罪に加担していると判断して、警察は子どもたちを逮捕し取り調べをすることがあります。ご家庭でお子さんのSNSなどの使い方に気を配って話し合いの機会をつくってほしいと思います。

「いちのみやタオル」を販売中

岡山一宮高校のオリジナルタオルを販売しています。PTAで企画し、学校の承諾を得て制作した学校公認の公式「いちのみやタオル」です。

岡山一宮高校のスクールカラーのエンジ色を基調として、制服にも使用されているエンブレムをデザインしています。生徒の皆さんからのアンケートをもとにデザインが決まりました。

タオル生地は今治タオルを採用して、とても肌触りの良いものに仕上がっています。今年は銀杏祭でも販売

しました。

部活やスポーツの応援イベントなどで活用してもらえればと思います。

今後、イベントごとの販売となります。1枚1500円。

イベント会場で見かけたらお求めください。



エンブレムや一宮高校マークをデザインしたタオル

保護者の思い

新たな3年の始まり

児玉 正（1年生）

2024年3月に岡山県立岡山一宮高等学校を娘が卒業。桜が満開となった4月には息子が同じ高校へ入学し、また新たな3年間が始まりました。

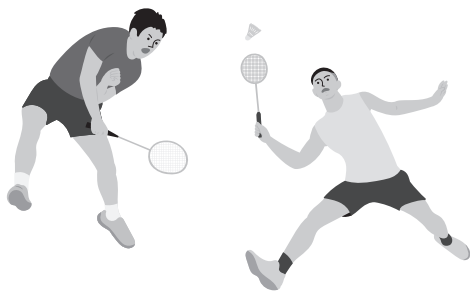
2021年には新型コロナウイルス感染症の影響により、娘が入学の際出席できなかった入学式へ初めて参加させていただきました。新しい制服に袖を通した息子の姿を見て、「ついこの間まで中学生だったのに……」と、つい昨日のことのように思います。

息子は娘と同様に理数科への進学となりました。中学時から理数系に興味があったことや、家で娘が理数科の勉強（主に宿題でした）をしていたこともあり、高校受験においては迷いなく「岡山一宮の理数科」を選択し、猛勉強の末に晴れて合格をいただくことができました。

普段から感情を表に出す

子ではないので、合格発表時あまり感情は表には出していませんでしたが、内心では喜んでいただいています。

学校生活が始まり、これまで経験したことがないバドミントン部へ入部。学業とスポーツの両立に、毎日忙しい日々を過ごしています。平日は私の朝が早いので、子どもが起床する前に家を出ているため会話することはほぼないのですが、夜帰宅後や休日に学校生活を聞きながら充実している様子が伺えました。まだ、これから2年間学校生活は



続きますので、大学進学に向けて今以上に学業にスポーツに取り組んでほしいと思います。

さて、娘が在学中において、私は3年間クラス評議委員としてPTA活動へ参加しております。本年度はPTA執行部として活動に参加することとなり、様々な人との出会いが多くなりました。

平日は会社員として勤務していることや、休日は陸上競技大会の公認審判員への参加や地元町内会の活動などで充実かつ多忙な1年ではありましたが、今後もできるだけPTA活動へ参加できるよう努力したいと思います。

最後になりますが、教職員の皆様におかれましては非常に多忙な中において、生徒一人ひとりに対し、熱意をもってご対応いただいていること大変感謝しています。引き続き今後よろしくお願い申し上げます。

今年度のお詫びと 来年度に向けて

中山 芳一（1年生）

11月上旬のことです。岡山一宮高校の卒業生である私の手元に、同窓会員名簿

が届きました。私は、12期生のページをめくりながら、旧友たちの名前を見るにつけて、当時のことを懐かしく思い出していたもので、そして、私の母校であり、今では娘の通う高校でもある「一高」は、本当に居心地のよい学校だとつくづく実感してしまいました。

このような実感を持つている卒業生は、決して私だけではないでしょう。それは、一高がこれまでずっと大事にしてきた、一高らしい自由な校風のおかげだと確信しています。この自由な校風によって、私をはじめ多くの生徒たちは自分自身のやりたいことを実現できてきたはずです。そんな一高に感謝の念を抱かずにはいられません。

生徒の皆さんには、これからこの一高で充実した高校生活を過ごしていただきたいものです。そのために、私たち保護者には何ができるのでしょうか（私は卒業生でもあります）？

ちなみに、今年度の私はPTA役員として何もお役に立てませんでした。私が何もできなかった一方で、竹原会長をはじめ役員の皆さんはご自身の時間を使わ

れ、PTAのためにご尽力くださいました。本当に頭の下がる思いです。私といたしましては、来年度こそ今年度の分までがんばろうと意気込みを新たにしています。PTA会長を立候補する所存でした。しかしながら、すでにスケジュール的にPTA総会への出席がままならないことが判明し、あえなく辞退することとなりました。皆様には、大変申し訳ない思いでいっぱい

です。来年度からは、一人の保護者として、そして卒業生として、「できるときに、できることを！」の精神で貢献させていただきます。

最後になりましたが、改めて、今年度のPTAの皆様、一年間ありがとうございました！

娘への想い

川上 京子（2年生）

娘は17年前の11月、父と2歳上の兄、祖母に見守られながら、この世に誕生しました。

「困っている人や悩んでいる人を温かく包んで光を照らしてあげられる人であって欲しい」という願いを込めて、名前を付けました。

いつもニコニコしていて、ただど時に泣き虫で感情豊かな娘がとても愛おしくて、精いっぱい愛情を注いできました。

幼稚園の運動会では唯一娘一人だけ、母から離れることができず、園児の中に大人一人、一緒にダンスを踊ったこともありました。

小学生の低学年では、参観日の発表の際に、母の姿を見た娘は安心感からか涙を流し、その涙を静かに拭いながら最後まで発表を頑張っていたこともありました。

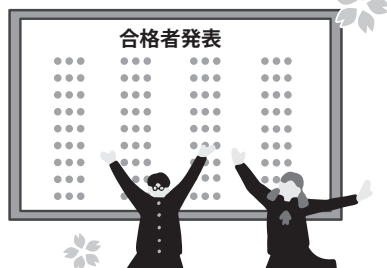
「母さんの傍にずっと居るから」と、言ってくれていた娘。

あれから十数年。思春期・反抗期の波が我が家にもやってきました。高校2年生になり、どんな気持ち下がって笑顔が少なくなっていく娘の姿を見ながら、傍に居ながら何もしてあげられない無力さに涙を流すこともありま

した。時には助言のつもりで放った私の言葉で言い合ひになり、娘をさらに傷つけてしまうこともありました。

の心配ばかりをして、今の娘をちゃんと見てあげられていないことにも気がつきました。

2年前、一宮高校の合格発表の日、自分の受験番号を見つけて大喜びをした娘の笑顔を、今でも鮮明に思い出します。



今、娘の周りには娘を心から支えてくれる温かい友達や先生方がいてくださいます。その人たちと出会えたことが、娘が自分自身で一宮高校への進学を選択したことに間違いはなかったという証明になっているように思います。

今、自分自身が思い悩んでいることが、いつかこの先、同じ様に悩んでいる人への温かい希望の光として照らすことができるようになっていきます。

懐かしの一宮高校

本田 智美（2年生）

早いもので娘が一宮高校に入学して2年が経とうとしています。

第1志望を私の母校でもある一宮にする決めた時はとても嬉しかったことを覚えています。合格をいただき、入学が決まった時は私もまた一宮に行くことができることをひそかに喜んでいました。その年から新しくなった制服を嬉しそうに着る娘の姿はこれからの高校生活への期待でいっぱいだったようでした。

私が卒業して何十年？も経っているのに変わらない校舎や公孫樹会館。高校に足を運んでいるうちに懐かしい思い出が次々によみがえってきました。熱で学校を休むと数学が鬼のように進んでいてびっくりして職員室の先生に助けを求めたこと。わからない所は先生や部活の友だちに教えてもらってなんとかやっていくこと。部活は二つも入って楽しんでいました。当時あった五校戦はとても盛り上がって楽しかったこと。色々と思い出しました。今も私がいいた頃と変わらず、思う存分勉強ややりた



たな、がんばったなと思える毎日にしてほしいと思います。(お弁当作りもあと…：がんばります♡)

「toi toi toi」のおまじない

十鳥麻里子(3年生)

娘が幼稚園のとき、親子で徒歩通園をしていました。一緒に手をつないで歩くと思議に穏やかな気持ちになり、小さくてふくよかな手のぬくもりをずっと忘れずにいたいと思いました。小学校からは、一人での登校となり、ランドセルを背負った後ろ姿を見送ることになりました。心配性の私は遠ざかっていくランドセルを目で追いながら、心の中で『toi toi toi』を歌って唱えていました。この歌は、その当時のテレビ番組の楽曲で、「toi toi toi」とはドイツのおまじないの言葉です。「今日一日がうまくいくように」と幸せを願う意味があり、私は登下校の安全や「今日もいい日で！」と願って唱えていました。

一宮では勉強も部活も課題研究も全力でがんばるからこそ成功や失敗から学んで、次の舞台でもがんばれる人間になれるのかなと思います。今の出会いを大切に。何十年先も、高校生活は忙しかったけど楽しかったな、がんばったなと思える毎日にしてほしいと思います。(お弁当作りもあと…：がんばります♡)

つてらっしゃい」や「おかえり」と声をかけることもできない日が多くなりまして。でも何か心配がよぎる時や特別な日などは、今でも無意識に『toi toi toi』を心の中で歌って唱えてしまいます。

高校になると、子どもの学校生活に接する機会も少なくなり、少し寂しさも感じていました。今年は評議員をさせていただいたことで、文化祭のバザーのお手伝いの機会があり、声を出して販売していると自然と自分に笑顔が生まれ、爽やかな気持ちになることを感じました。

体育祭にも観覧の機会をいただき、生徒の皆さんの躍動感や他者を思いやる行動を節々に見ることができ、とても感動しました。我が子を通う学校で思い出を共有できたことがとても感慨深く、感謝の気持ちでいっぱいです。



今、未来に向かって巣立とうとしている我が子を思いながら、一緒に手をつないで歩いたあの頃には戻れませんが、感じた手の温もりや優しさはずっと私の中で生き続け、ろうそくのような温かいあかりを灯してくれているように思います。

一宮高校の生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さんにとって、一宮高校での出会いや経験が心の中に生き続けるあかりとなりますように。そして、この先の未来も「toi toi toi」。

邁進

豊田 直美(3年生)

3年前の春、勉強と部活を両立して頑張りたいと、一宮高校に入学しました。彼が野球を始めるきっかけとなったのは、小学4年生の時に友人から誘われて始めたソフトボールでした。小さい頃は大人しい性格でスポーツにも縁がなく、当時は妹たちもまだ小

さく手がかかったため、しばらく保留にしていれば諦めるだろうと思っていいたが、意志は固く渋々許可をした形で始めました。

「続けられるだろうか」という心配をよそに、練習や試合、たくさんの行事を経験し、濃い3年間を過ごすことが出来ました。

小学校でのソフトボールを経て、中学校は野球部で3年間仲間と共に頑張りました。そして高校でも野球を続けること決めており、「文武両道」である一宮高校を志望し入学後すぐに体験に参加しあつという間に入部を決めました。彼の野球への熱意と行動力、決断力の速さには驚かされたものでした。

高校生活は充実した毎日のようでしたが、勉強と部活動の両立は学年を追うごとに大変な様子が見られました。3年生では部でキャプテンを経験させてもらいました。お風呂から随分上がらないので心配になり声をかけると、練習メニューを考えていたということが何度もありました。勉強の途中で寝てしまったよう

で、朝まで電気をつけたまま床やソファで寝ていたことも多々ありました。



帰宅後の限られた時間を工夫し頑張る様子に心配になることもありましたが、こうして頑張ってくることができたのは、先生方をはじめ部活の仲間や高校で出会えた友人、小学校からずっと一緒にいてくれる友人たちの支えや助けがあったからこそだと思います。

今は、部活は引退し大好きな野球はできていますが、キャプテンを経験したことをいかして次の学びたいことを見つけ、その目標に向け頑張っている毎日です。

野球を通してできた出会い、たくさんの学びや経験は一生の宝物になることでしょ。一度決めたなら諦めず、目標に向けてひたむきに努力して実現させていく彼の姿を応援し、これからもずっと見守っていきたいと思っています。